

こども 鳴潮

「ショパン作曲の「子犬のワルツ」を聞いたことがある人は多いと思います。まるで子犬が遊んでいるような軽やかな曲で、ショパンの曲の中でも、とても有名です▼でも、同じ

ショパンの「猫のワルツ」を知っている人は少ないと思います。小松島市出身のピアニスト、山本貴子さんが教えてくれました▼ハンガリーの音楽学校で10年間、ピアノ演奏を学んだ山本さんは、帰国後、県内全域の学校で公演活動続け、その回数は300回近くに達しています▼「子犬のワルツ」を演奏する前に、子どもに好きな動物を尋ねると「猫」と答える子が多いそうです。最近では空前の猫ブームですからね。「子犬のワルツ」の話題になかなか結びつけられないとか▼そこで探し出したのが「猫のワルツ」。演奏時間も短く、とても明るい曲で、学校コンサートで時々、披露するようになりました。小さな生き物への愛情の大切さを演奏で表現する山本さんは今年、どこの学校を訪れるでしょうか。